


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

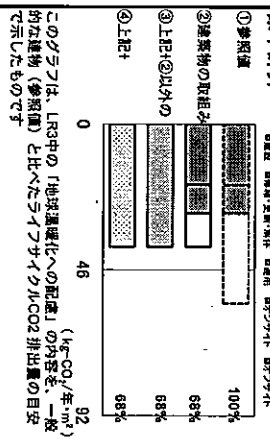
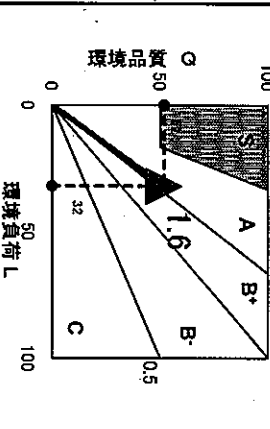
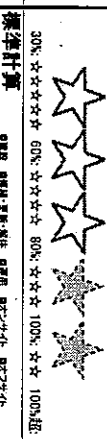
■使用評価マニュアル: CASBEE建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016v3.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)埼玉県加須市間口新築工事業	階数	地上5F
建設地	埼玉県加須市	構造	S造
用途地域	該当なし	平均居住人員	365 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間(年(想定値))
建物用途	事務所工場	評面の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年0月 予定	評面の実施日	2020年1月27日
敷地面積	16,200 m ²	作成者	内輪 哲
建築面積	10,409 m ²	確認日	2019年0月0日
延床面積	30,145 m ²	確認者	〇〇〇
		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響率)	
		2-3 大項目の評価(L-カーチャート)	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★★ C:★★★★★



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q2のスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

1	音環境	自然環境	光環境	空気環境
2	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービエ性能 Q2のスコア = 3.6

1	操作性	耐用性	対応性
2	N.A.		

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

1	生物環境	まちなみ	地味性
2	1.0		

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

1	建物外皮の	自然エネルギー	設備の省エネ	効率的
2	N.A.			

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

1	水資源	非再生材料の	汚染物質
2	4.0	2.0	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

1	地球温暖化	地球環境	周辺環境
2	4.2	3.2	3.2

3 設計上の配慮事項

省エネ型機器、LED照明などの採用により省エネ化を図っており、F★★★★の内部材採用による大気汚染対策など環境に配慮した設計としている。

その他
特になし

<p>Q1 室内環境</p> <p>省エネ型機器、LED照明などの採用により省エネ化を図っている。</p>	<p>Q2 サービエ性能</p> <p>空間の形状・自由度についてゆとりがある計画としている。また、給水配管等の更新化要隔が長いものを採用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>広域的な観点から景観上の特性を踏まえ、地域の景観に与える影響に留意している。</p>
---	--	---

■ CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ G: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、R: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、02、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
【仮称】埼玉県加須市間口新築工事

□ 欄に数値またはコメントを記入

■ 使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■ 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.0				3.0
Q1 室内環境										
1 音環境						-	-		-	-
1.1 室内騒音レベル						-	-		-	-
1.2 遮音						-	-		-	-
1		開口部遮音性能				-	-		-	-
2		界壁遮音性能				-	-		-	-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-	-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-	-
1.3 吸音						-	-		-	-
2 温熱環境						-	-		-	-
2.1 室温制御						-	-		-	-
1		室温				-	-		-	-
2		外皮性能				-	-		-	-
3		ゾーン別制御性				-	-		-	-
2.2 湿度制御						-	-		-	-
2.3 空調方式						-	-		-	-
3 光・視環境						-	-		-	-
3.1 星光利用						-	-		-	-
1		星光率				-	-		-	-
2		方位別開口				-	-		-	-
3		星光利用設備				-	-		-	-
3.2 ヲラテ対策						-	-		-	-
1		星光制御				-	-		-	-
3.3 照度						-	-		-	-
3.4 照明制御						-	-		-	-
4 空気環境						-	-		-	-
4.1 発生源対策						-	-		-	-
1		化学汚染物質				-	-		-	-
4.2 換気						-	-		-	-
1		換気量				-	-		-	-
2		自然換気性能				-	-		-	-
3		取り入れ外気への配慮				-	-		-	-
4.3 運用管理						-	-		-	-
1		CO ₂ の監視				-	-		-	-
2		喫煙の制御				-	-		-	-
Q2 サ-ビス性能						0.43			3.6	
1 機能性						-	-		-	-
1.1 機能性・使いやすさ						-	-		-	-
1		広さ・取扱い				-	-		-	-
2		高度情報通信設備対応				-	-		-	-
3		バリアフリー計画				-	-		-	-
1.2 心理性・快適性						-	-		-	-
1		広さ感・景観				-	-		-	-
2		リノベーションペース				-	-		-	-
3		内装計画				-	-		-	-
1.3 維持管理						-	-		-	-
1		維持管理に配慮した設計				-	-		-	-
2		維持管理用機能の確保				-	-		-	-
2 耐用性・信頼性						3.0	0.50		3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		3.0	
1		耐震性(建築物のこわれにくさ)				3.0	0.80		3.0	
2		免震・制震・制振性能				3.0	0.20		3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		3.0	
1		躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		3.0	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		3.0	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		3.0	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		3.0	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20		3.0	
6		主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		3.0	
2.4 信頼性						2.8	0.20		2.8	
1		空調・換気設備				3.0	0.20		3.0	
2		給排水・衛生設備				2.0	0.20		2.0	
3		電気設備				3.0	0.20		3.0	
4		機械・配管支持方法				3.0	0.20		3.0	
5		通信・情報設備				3.0	0.20		3.0	

汚水・雑排水VP(B)、給水VL(P)(B)、給湯SUS(G)、上位2種にBを使用

3 対応性・更新性 3.1 空間のゆとり			4.2	0.50			4.2
1 階高のゆとり 2 空間の形状・自由さ		階高6.2m 壁厚さは平均0.0568 倉庫の積載荷重が4.800N/m ² 以上	5.0 5.0 5.0	0.30 0.60 0.40	- - -	- - -	- - -
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性 2 給排水管の更新性 3 電気配線の更新性 4 通風配線の更新性 5 設備機器の更新性			3.0 2.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.10 0.10 0.20	- - - - -	- - - - -	- - - - -
3.4 敷地内気象環境の向上		北側が隣事務所廻り	4.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57			2.6
1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 地域性・デザインへの配慮 3.1 地域性への配慮、快適性の向上 3.2 敷地内気象環境の向上		景観計画区域内における行為の届出書参照	1.0 4.0 2.5 3.0 2.0	0.30 0.40 0.30 0.50 0.50	- - - - -	- - - - -	1.0 4.0 2.5 - -
LR 建築物の環境負荷低減性							3.7
LR エネルギー				0.40			4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用			- 3.0 5.0 3.0	- 0.13 0.63 0.25	- - - -	- - - -	- 3.0 5.0 3.0
集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制			3.0 3.0 3.0 3.0	1.00 0.50 0.50	- - -	- - -	- - -
LR2 資源・エネルギー				0.30			3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70	- - -	- - -	- - -
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.80	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		ビニル床材(タイル、休憩室等)	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22	- - - - -	- - - - -	- - - - -
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避		ノンフロン	3.0 4.0	0.30 0.70	- -	- -	- -
1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒			5.0 3.0	0.50 0.50	- -	- -	- -
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.6
1 地球温暖化への配慮		ライオンサイクルCO ₂ 排出率に基づいてスコア換算	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地球環境への配慮		空調・給湯に電気熱源を採用し燃焼機器を使用しない	3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	-
2.2 温暖環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制			3.0 3.0 5.0	0.25 0.25 0.25	- - -	- - -	- - -
4 廃棄物処理負荷抑制		敷地外に利用者専用の駐輪場及び駐車スペースを設ける	1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音 2 振動 3 悪臭			3.0 3.0 -	0.50 0.50 -	- - -	- - -	- - -
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 3 日照障害の抑制			3.0 3.0 3.0	0.70 -	- -	- -	- -
3.3 光害の抑制		ネオンサインの項目過半数以上、広告照明なし	4.4 5.0 3.0	0.20 0.70 0.30	- - -	- - -	- - -

CASBEE埼玉県 重点項目シート











■使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要				
建物名称	(仮称)埼玉県加須市間口新築工	BEE	1.6	BEEランク
				★★★★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア		
4.2	+	2.0	= 6.2
			 

重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 4.2

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 4.2

建物の断熱化及び高効率設備の採用により、運用段階でのCO2排出量削減に努めている。

(2) 緑の保全・創出	スコア平均
2.0	2.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

敷地内に緑化を図り、緑の確保に努める計画としている。
また建物の断熱化や高効率設備の採用により、環境負荷低減に努めている。

:入力欄